

2022年6月実施 千里山くじら小規模保育園自己評価報告

職員数:9人

評価1:よくできている
 評価2:まあまあできている
 評価3:あまりできていない
 評価4:全くできていない

【保育のあり方、乳幼児への対応】		評価1	評価2	評価3	評価4
1. 健康と安全への配慮					
①	朝の登園時には、特に視診を大切に幼児の体調が悪くないかを確認している	56%	44%	0%	0%
②	体調が悪そうなときは、静かに寝かせたり検温するなど適切な処置を行い、家族へ連絡している	56%	44%	0%	0%
2. 乳幼児のみとりと理解					
①	乳幼児の話聞き、思いやサイン、その姿の中にある心の動きを推察し、基本的欲求が十分満たされる配慮をしている	33%	67%	0%	0%
②	ひとりの乳幼児を見ながら、他のこどもの様子もある程度、推察することができる	56%	44%	0%	0%
③	個々の乳幼児の発達や姿について、見通しをもって理解できる	44%	44%	11%	0%
3. 指導とかかわり					
[心のよりどころとして]					
①	乳幼児ひとり一人を観察し、ありのままの姿を受け入れ認めるようにしている	44%	33%	22%	0%
②	乳幼児とのあたたかなやりとりやスキンシップを常に心がけている	78%	22%	0%	0%
③	乳幼児の話聞くようにしている	67%	33%	0%	0%
④	一人ひとりとみんなの関係を常に考えている	56%	44%	0%	0%
[遊び・活動の援助者として]					
①	乳幼児が、遊びや活動を深めていくために、ヒントやアイデアを提供している	33%	67%	0%	0%
②	乳幼児をほめたり、励ましたり、めあてを持たせるような言葉がけをしている	56%	33%	11%	0%
③	禁止、命令、行動を急がせたり、自信を失わせることばや態度は出来るだけ控えている	22%	67%	11%	0%
[その他]					
①	乳幼児の家庭環境や成育歴などを考慮してかかわっている	56%	33%	11%	0%
②	支援児に対し、個別的対応やクラスの子どもとともに育ちあえる保育ができるよう考えている	44%	22%	33%	0%
4. 保育者同士の協力・連携					
①	クラスに関係なく、その場にいた保育者が適切な言葉がけや対応をしている	33%	67%	0%	0%
②	配慮が必要な乳幼児については、園全体で話し合い、共通理解をもって工夫して対応している	44%	56%	0%	0%
③	他クラスや異年齢のこどもたちと触れ合うよう、様々な保育の形態を取り入れている	33%	56%	11%	0%
5. 保育のあり方、乳幼児へのよくできていると思うこと					
<ul style="list-style-type: none"> ・保育内容や子どもの様子について他の職員や保護者と話をしながら保育する。 ・できたことをほめ、ともに喜ぶこと。 ・優しく、丁寧に関わること。 ・園児の思いを受け止め、理解し、解決すること。 ・ひとりひとりに合った言葉がけをすること。 ・言葉掛けや遊び方の例を見せることで、遊びの発展につなげること。 ・一人一人の心身の状態を把握し、心地よく園で過ごせるよう配慮すること。 					
6. 保育のあり方、乳幼児への対応でこれからの課題と思うこと					
<ul style="list-style-type: none"> ・遊びや活動を深めるため、ヒントやアイデアを提供すること。 ・危険な事への注意の声掛けが多くなる子どもに対して肯定的な声掛けと関わりを増やし、信頼関係をより強めること。 ・気になる子どもやイヤイヤ期への関わり方。 ・保育者の事情で子どもが急がなくてもいいよう、見通しを持って保育にあたること。 ・子ども自身が嫌な事でも「やってみよう。」と思う言葉掛け。 ・全園児と関わる時間を持ち、職員全員が全園児を把握すること。 ・一人一人とじっくり関わる時間が持てない時、他の保育者に援助をお願いし、最後まで対応できない場合があること。 ・勤務時間が少ないため、園児の個々の状況把握をしっかりとすること。 					

【保育者としての資質や能力・良識・適性】		評価1	評価2	評価3	評価4
①	保育に携わる者として、専門知識や技能を身につけている	22%	78%	0%	0%
②	保護者との信頼関係をつくることに努めている	67%	22%	11%	0%
③	仕事の手順を考え、効率よく行っている	78%	11%	11%	0%
④	保育者の人間性が子ども達に影響を与えることを自覚している	67%	22%	11%	0%
⑤	乳幼児や保護者との対応には、公平さを欠かないようにしている	89%	11%	0%	0%
⑥	園の消耗品や教材は、節約して使い、私用に使っていない	78%	22%	0%	0%
⑦	服装・髪型・身だしなみは清潔感のあるものを心がけ、安全性にも気を付けている	78%	22%	0%	0%
⑧	教材・教具の管理、点検、園内外の清掃や整理整頓を実行している	56%	33%	11%	0%
⑩	仕事や提出物の締め切りをきちんと守っている	56%	33%	11%	0%
⑪	他の職員の意見を素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を述べる事ができる	33%	56%	11%	0%
⑫	必要なことは、園長や主任に報告、連絡、相談している	67%	22%	11%	0%
⑬	上司の指示、命令には、責任をもって実行している	78%	22%	0%	0%
⑭	幼児や教育・保育に関する情報を日ごろから得ようとしている	56%	33%	11%	0%
⑮	社会情勢や季節の変化などを感じ取る感受性を大切にしている	67%	22%	11%	0%
1. 保育者としての資質や能力・良識・適正でよくできるとおもうこと					
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方から子どもの命を預かり、見守っていくという責任感。 ・子どもを大切にすること。 ・個々に合わせた関わりや対応。 ・情報共有することを大切に、他の職員の意見を聞いたり、自分の意見を述べる事。 ・一日の保育の流れや切替を意識すること。 ・協調性がある。 ・保護者や他クラスとの情報共有。 ・保護者が安心して育児ができるよう信頼関係を作る 					
2. 保育者としての資質や能力・良識・適正で課題だとおもうこと					
<ul style="list-style-type: none"> ・忍耐力 ・ピアノが苦手なこと。 ・高音で歌うことが苦手なこと。 ・知識不足。 ・一つ一つの項目を見直し、向上できるよう努める。 ・手遊びやピアノのバリエーションが少ないこと。 ・保護者と信頼関係をつくること。 ・五感を育てる取り組み。 ・製作活動のアイデア、壁面飾りの作製、手作りおもちゃの作製など積極的に行うこと。 					
【総評】					
<p>2021年4月の開園当初よりコロナウィルス感染防止対策を講じながら、全職員でより良き保育、また小規模保育だからできることを考え取り組んでいる。できているという評価がほとんどであるが、あまりできていない項目についてはキャリアの積み重ねが必要であるとする。まずは研修を受講し知識を増やすよう努める。今後も子ども自身が持っている力を伸ばし、成長につなげていけるよう個々に合わせた保育を心がけていきたい。</p>					